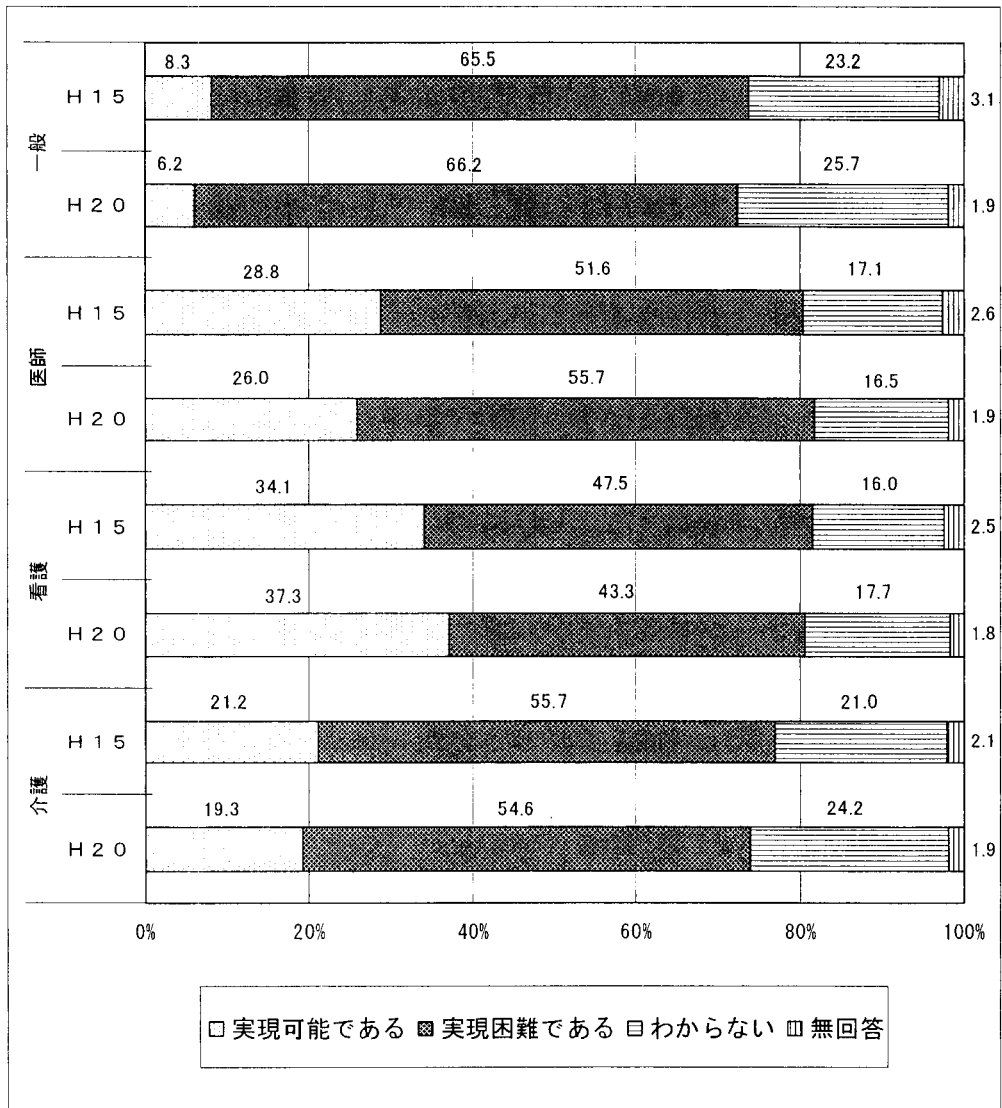


【(一般)問5-2, (医療従事者)問10-2】

自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(○は1つ)

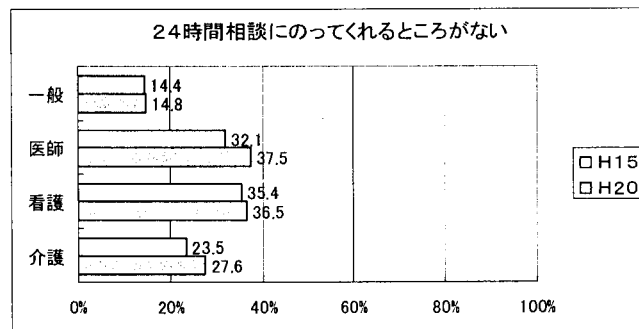
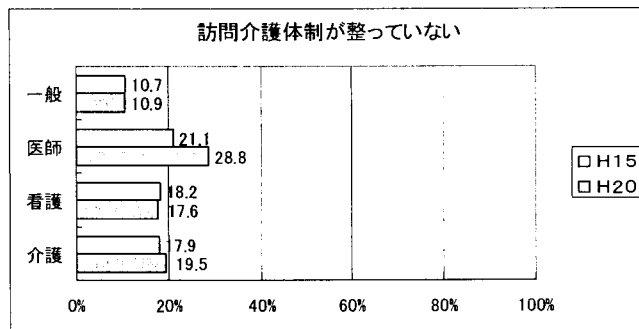
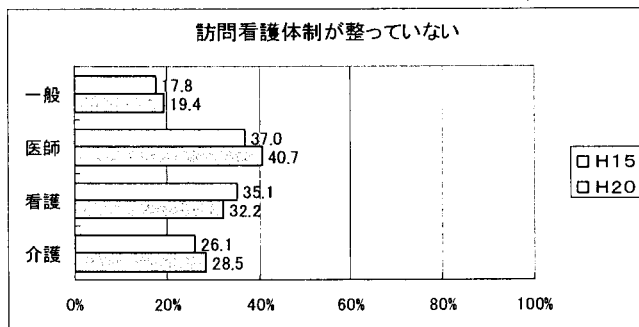
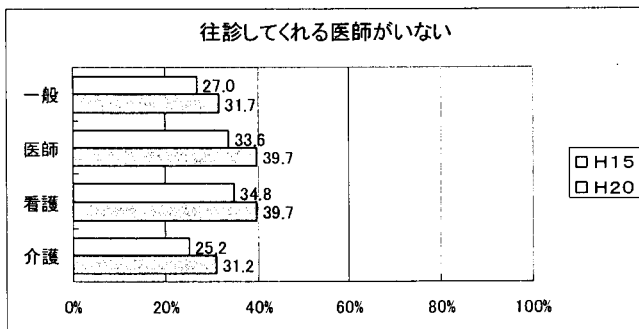
一般国民において、自分が自宅で最期まで療養可能と思っている者は6%であり、66%が困難であると感じている。しかし、医療従事者では実現可能と思っている割合は高く(医 26%, 看 37%, 介 19%)、特に緩和ケア病棟勤務者では半数近くが可能であると答えていた。

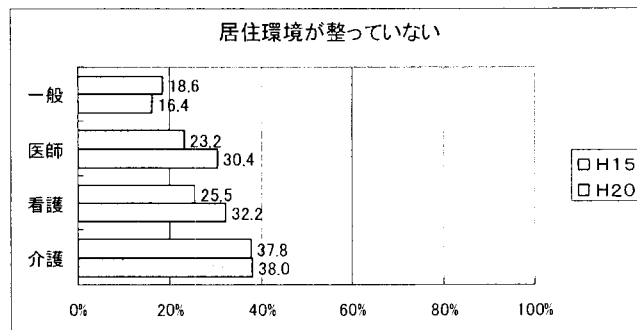
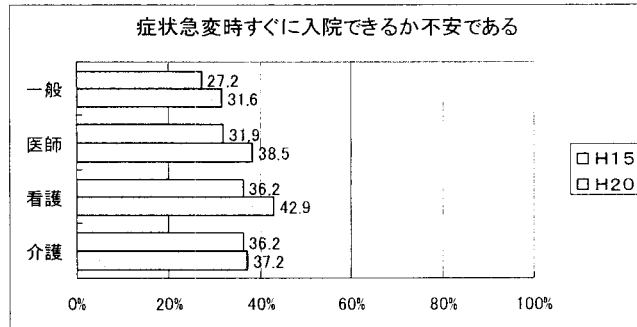
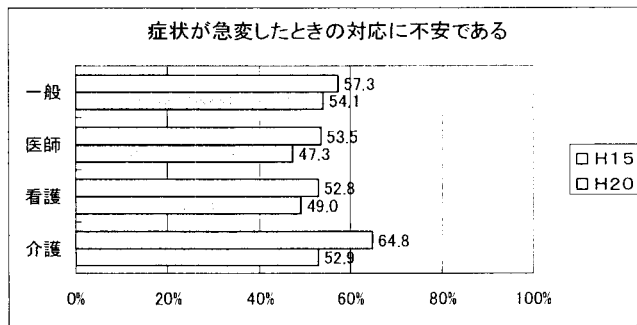
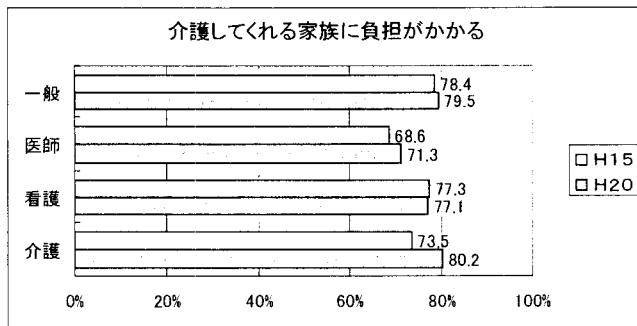
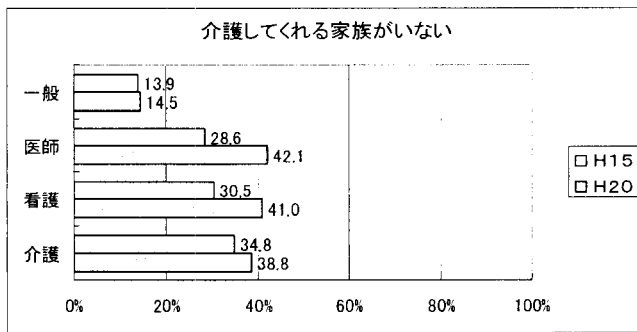


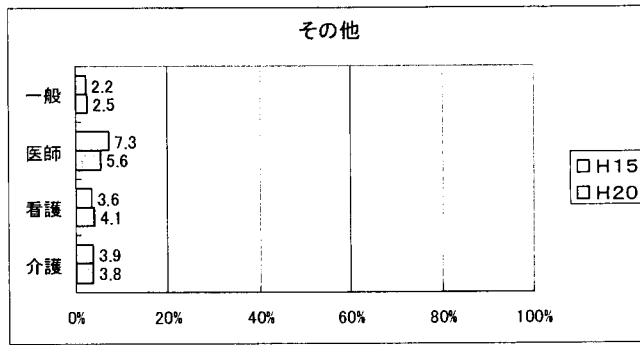
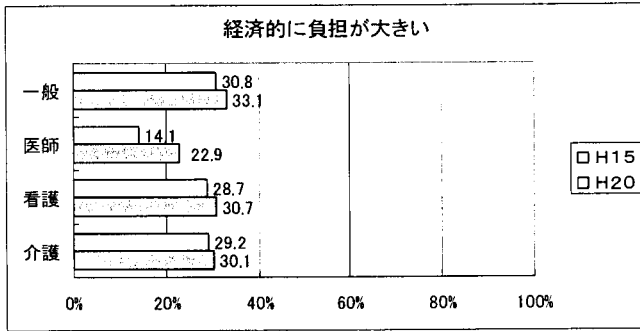
【(一般) 問5-2補問, (医療従事者) 問10-2補問】

(「2実現困難である」をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由  
 はどんなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

一般国民において、自分が自宅で最後まで療養するのが困難な理由としては、介護の家族負担、急変時の対応、経済的負担をあげる者が多い。医師では、訪問看護体制が整っていないことを挙げる者も多い。







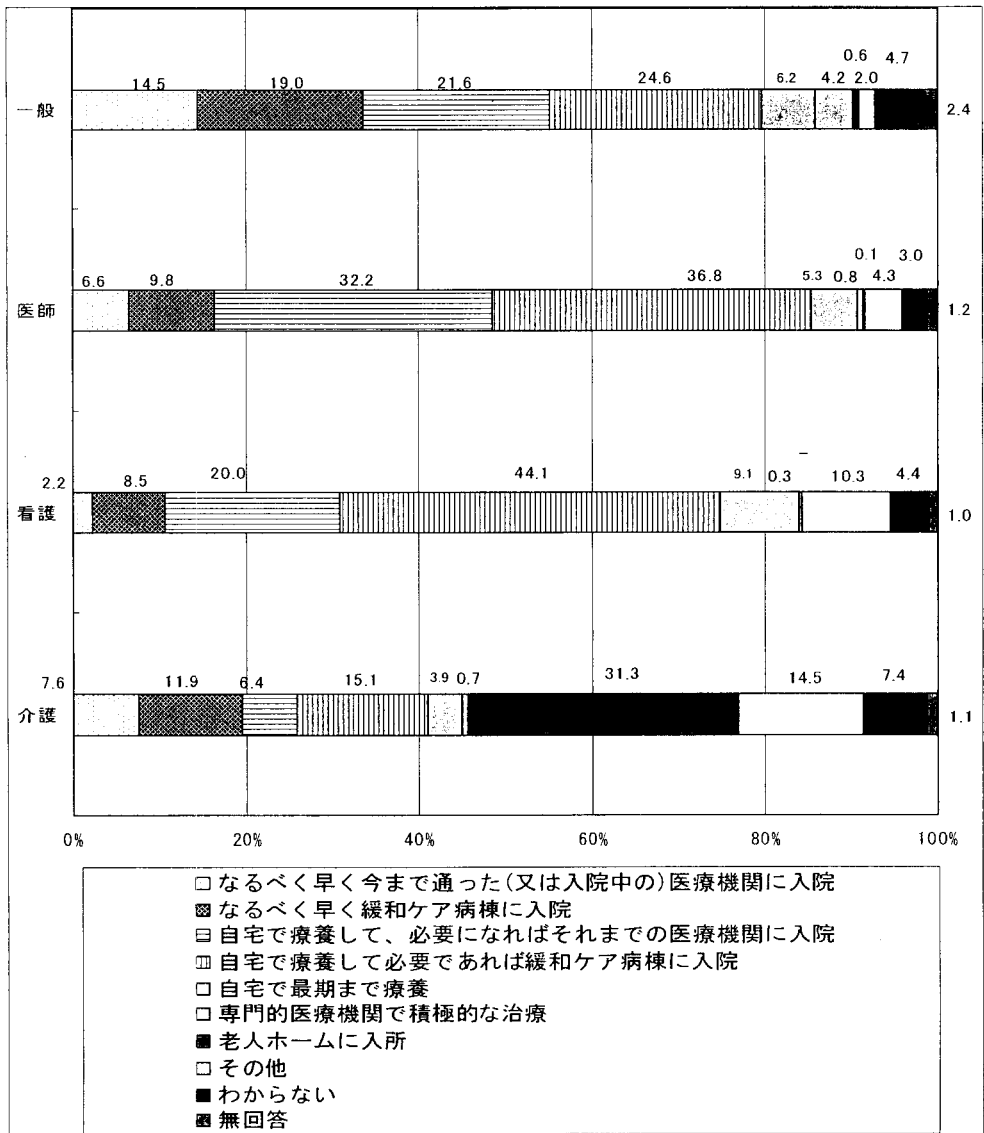
【(一般) 問7-1】

あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、療養生活は最期までどこを薦めますか。(〇は1つ)

【(医療従事者) 問10-1】

あなたが担当している患者(入所者)が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)場合、療養生活はどこを薦めますか。(〇は1つ)

自分の患者(または家族)が死期が迫っている場合の療養場所として、一般国民の52%は自宅で療養することを薦めようと思っており、自分の場合よりも少ない。医師・看護師では、自宅での療養を薦める者は一般国民より多くなっている(医74%、看73%)。介護職員では老人ホームで療養することを薦める者が多い(31%)。

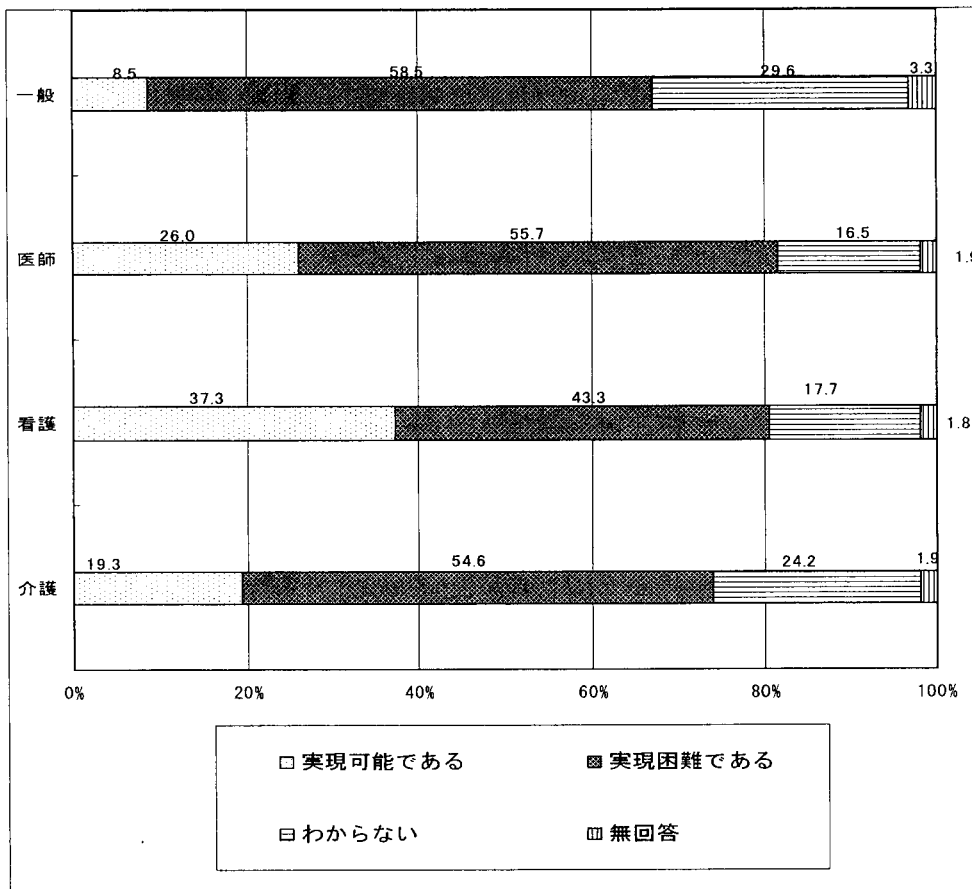


【(一般) 問7-2 (医療従事者) 問10-2】

あなたの家族(担当者)は自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(〇は1つ)

自分の患者(または家族)が自宅で最期まで療養可能と思っている者は、一般国民が9%であるのに対し、医療従事者はそれより高い割合で療養可能だと考えている(医26%、看37%、介19%)。

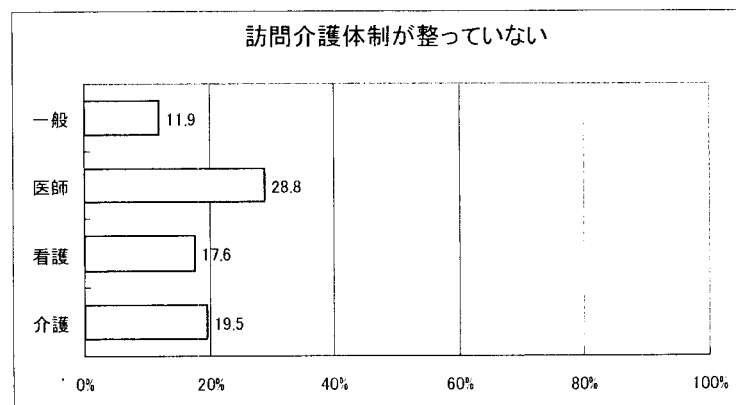
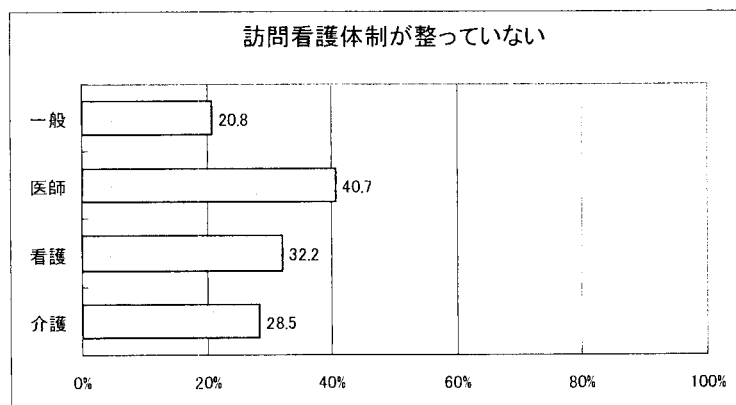
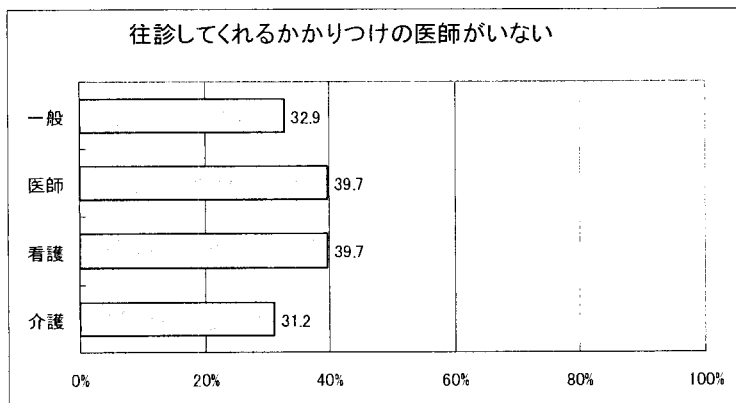
延命医療について家族で話し合いを行った者や、緩和ケア病棟勤務者は、実現困難であると思う者が多い(64%)。

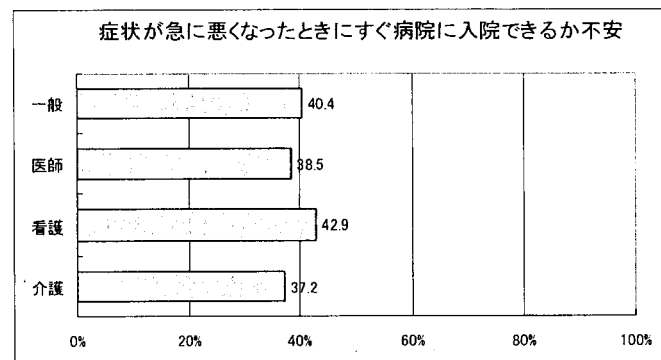
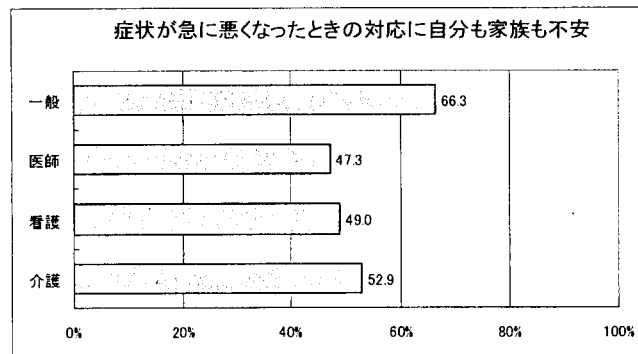
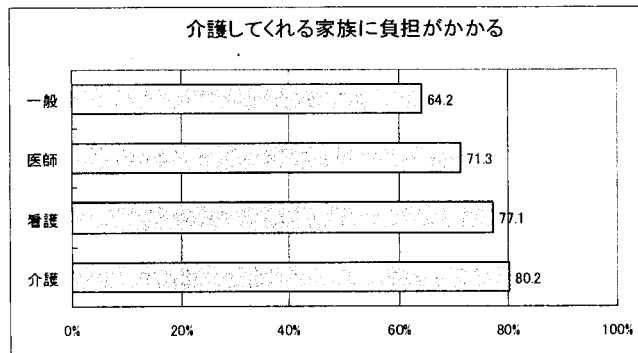
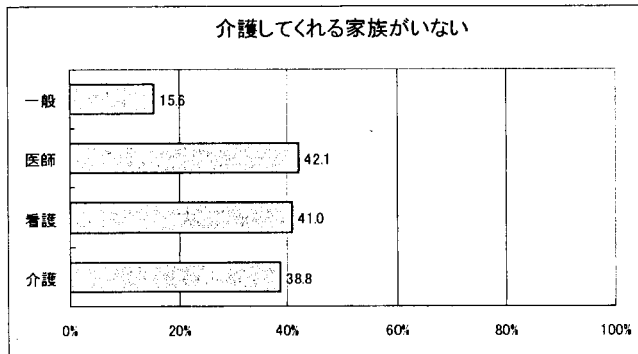
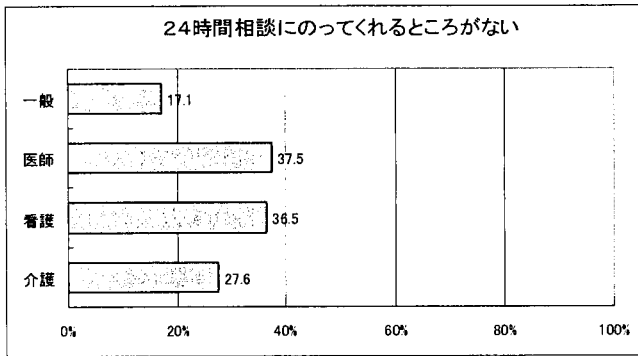


【(一般) 問7-2補問(医療従事者) 問10-2補問】

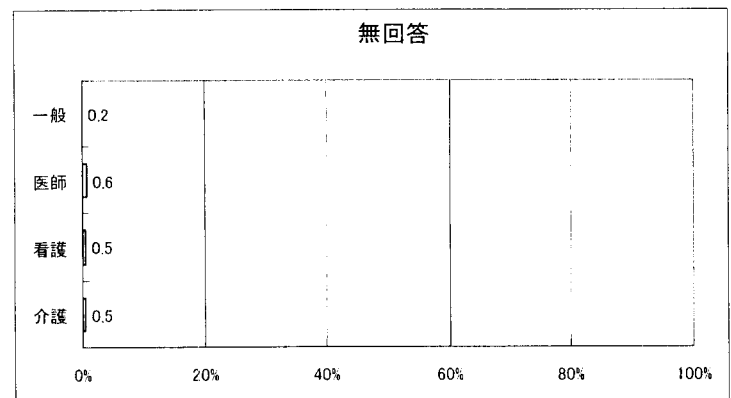
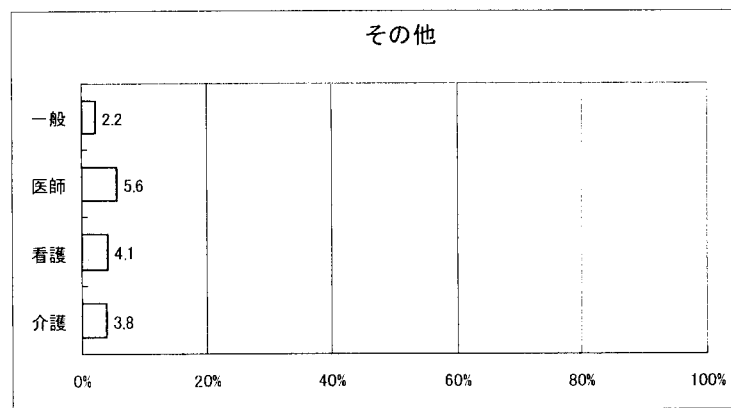
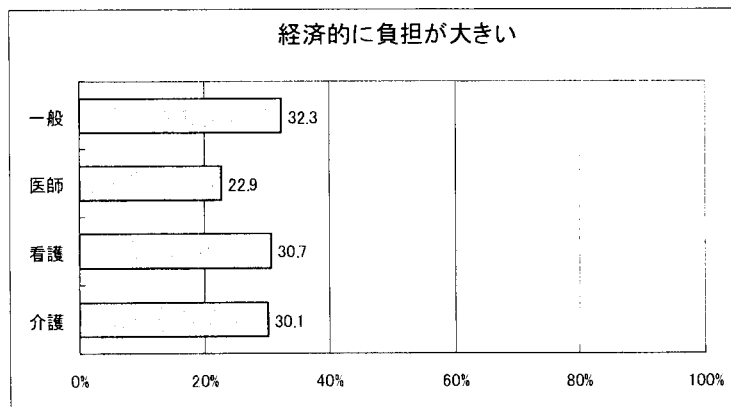
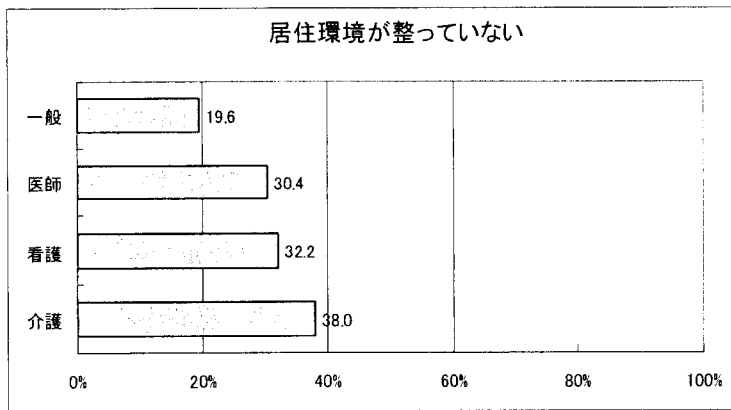
(問7-2、10-2で「2実現困難である」をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどのようなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

自宅で最期まで療養することが困難な理由として、自分の場合と同様、一般国民・医療従事者ともに「介護してくれる家族に負担がかかる」「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安」を多く挙げている。









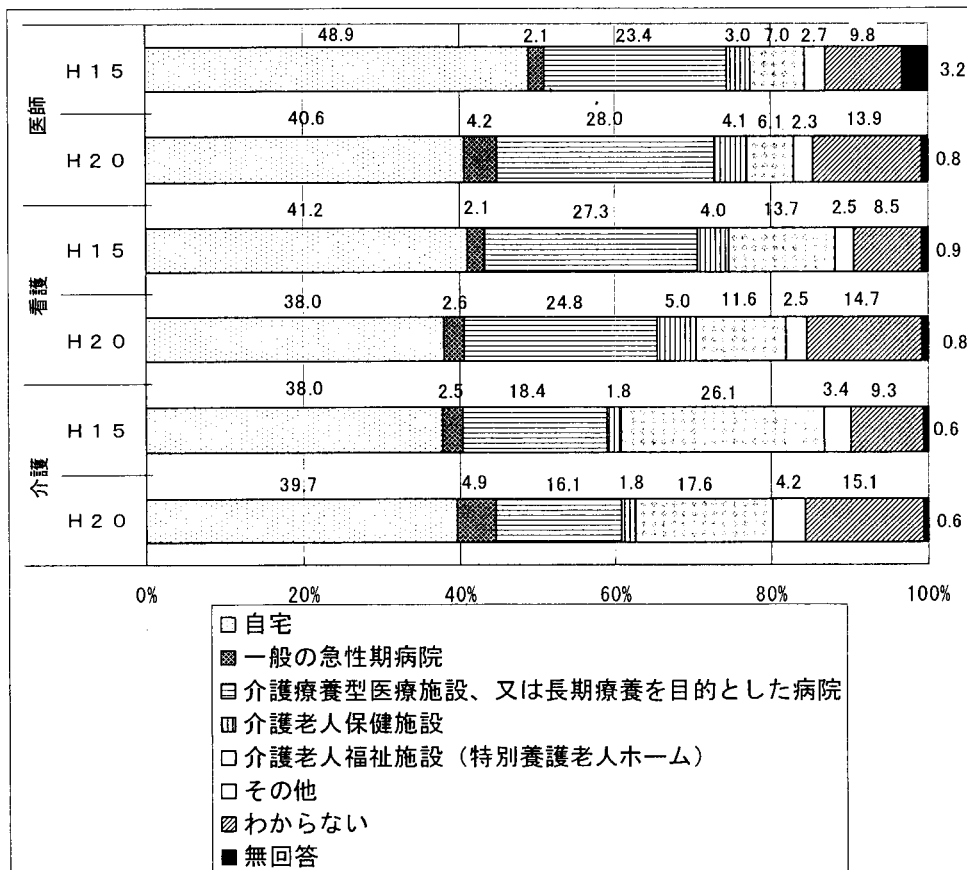
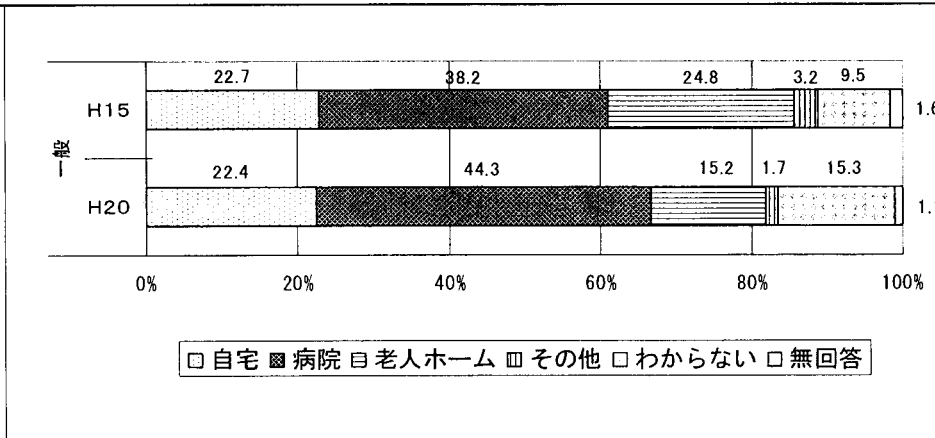
## 2) 脳血管障害や認知症によって全身状態が悪化した患者

【(一般)問11, (医療従事者)問16】

あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養したいですか。(〇は1つ)

自分が脳血管障害や認知症になった場合の療養場所としては、医療関係者は自宅(医師41%、看護職員38%、介護職員40%)や介護療養型医療施設等(医師28%、看護職員25%、介護職員16%)で療養することを望んでいる者が多いが、国民は自宅(22%)よりも病院(44%)で療養することを望んでいる者が多い。

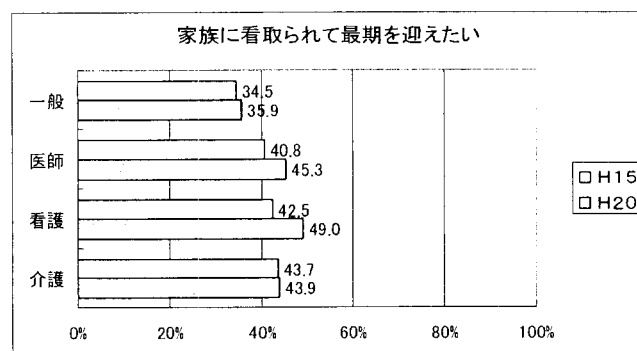
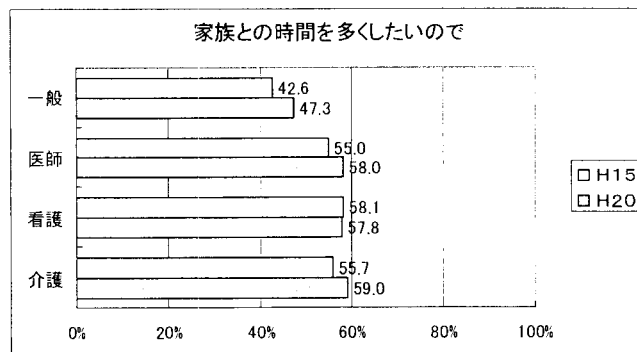
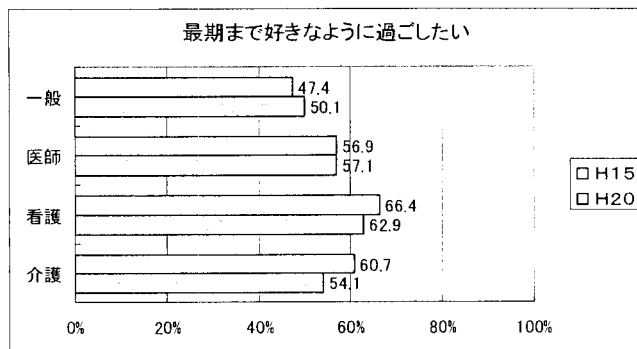
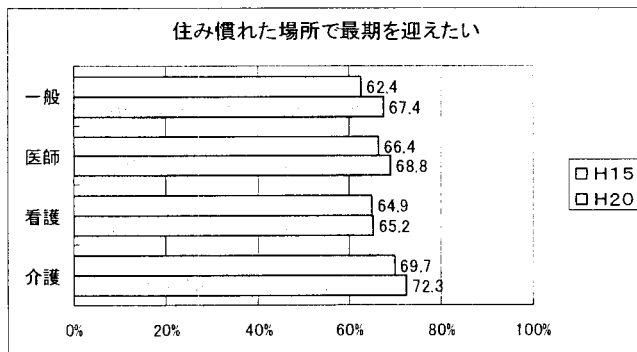
また年代別では高齢者の方が病院での療養を多く望んでいる(47~54%)。介護職員では介護老人保健施設(特別養護老人ホーム)で療養することを望んでいる者も多い(18%)。

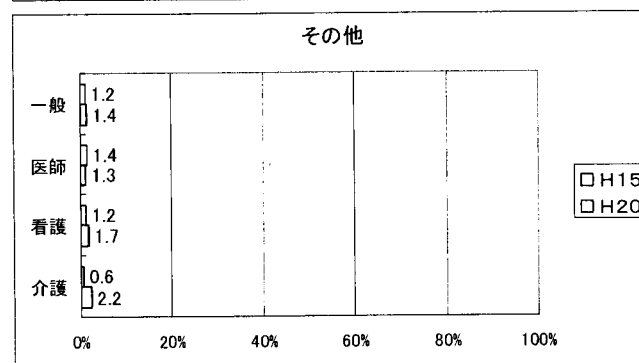
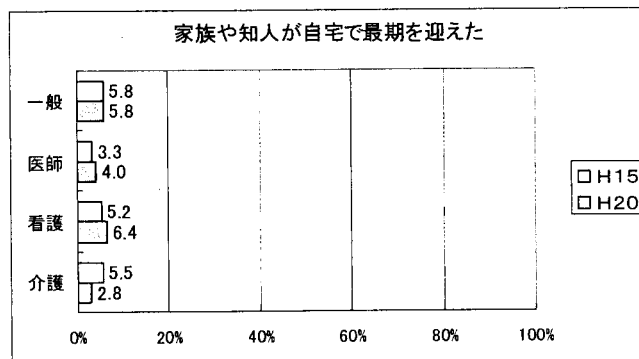
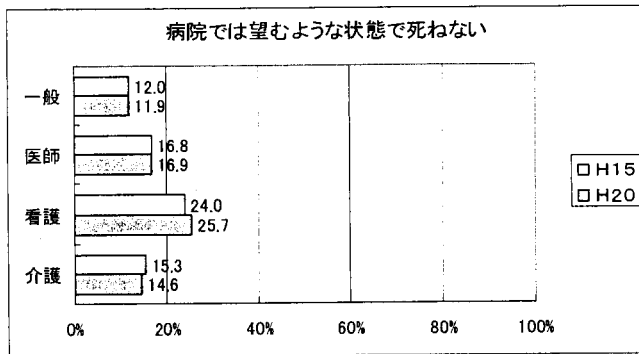


【(一般)問11補問1, (医療従事者)問16補問1】

(問11で「1自宅」をお選びの方へ)なぜ、自宅で最期まで療養したいと思いますか。

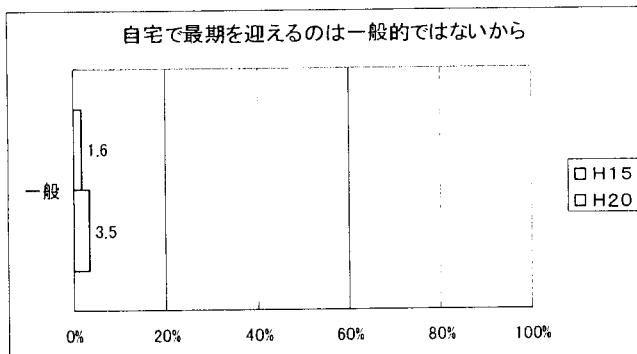
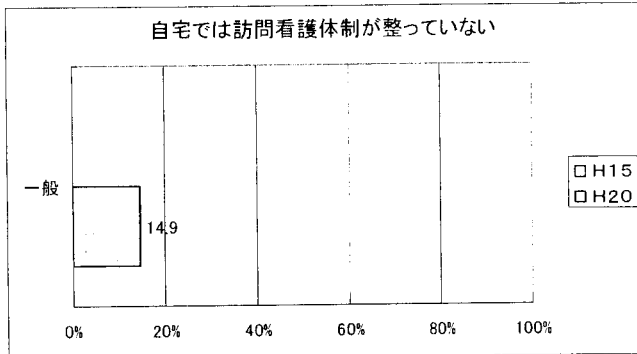
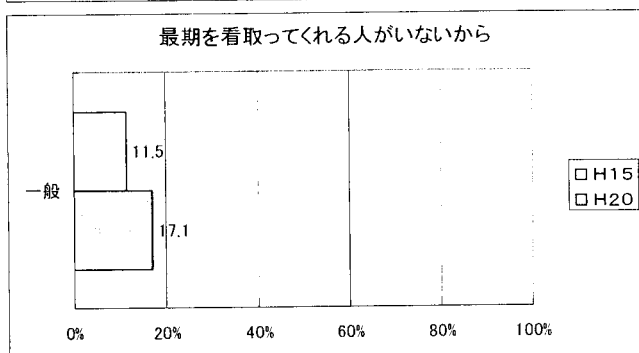
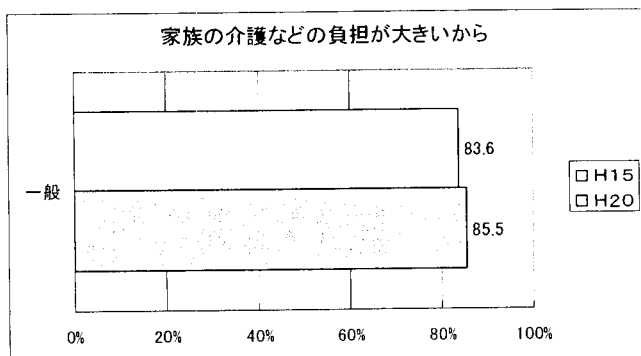
自宅で療養したいと回答した者は、その理由として「住み慣れた場所で最後を迎えたい」「最後まで好きなように過ごしたい」「家族との時間を多くしたい」をあげる者が多い。

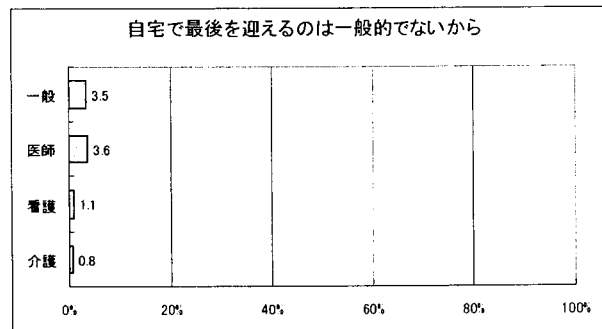
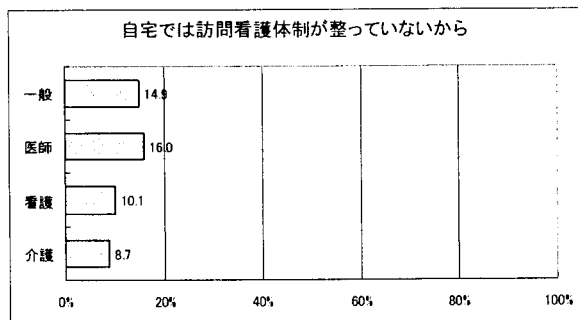
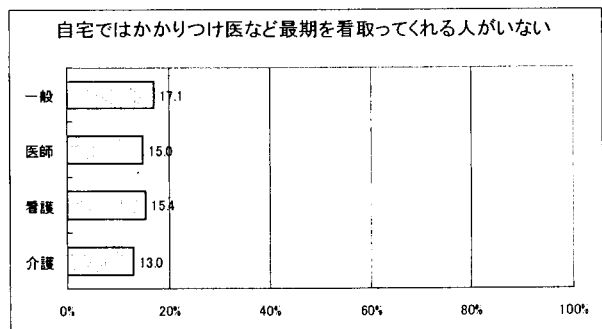
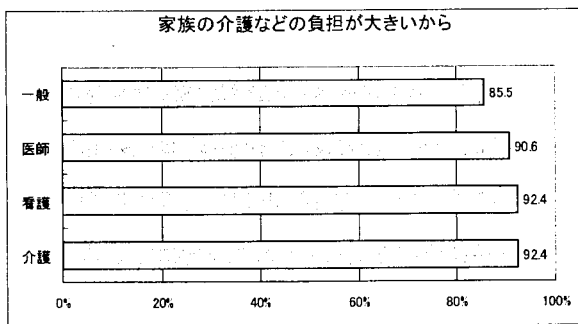
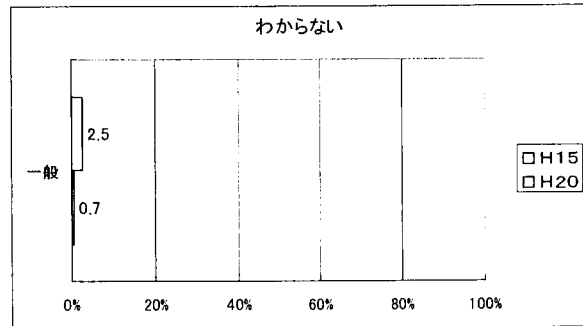
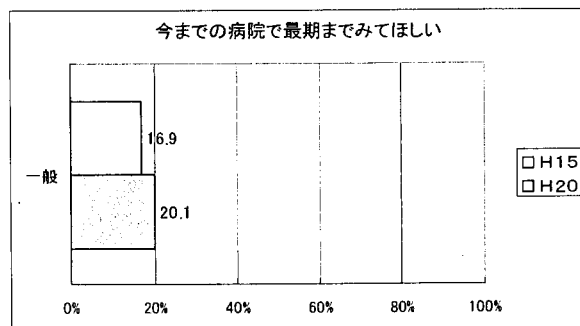
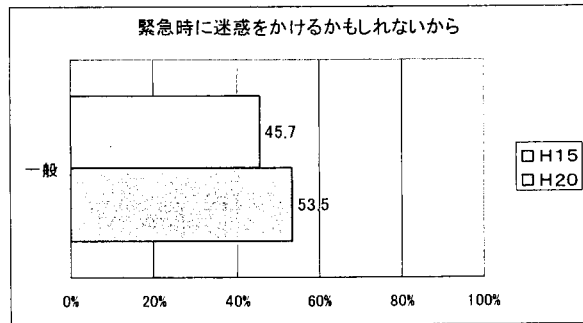
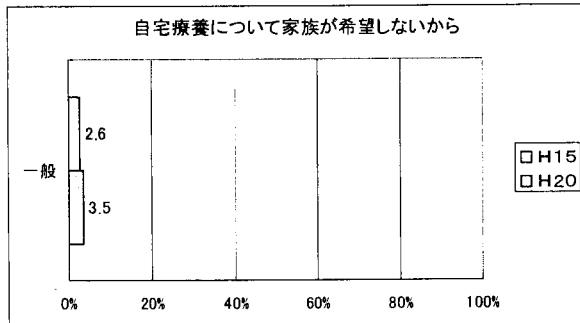
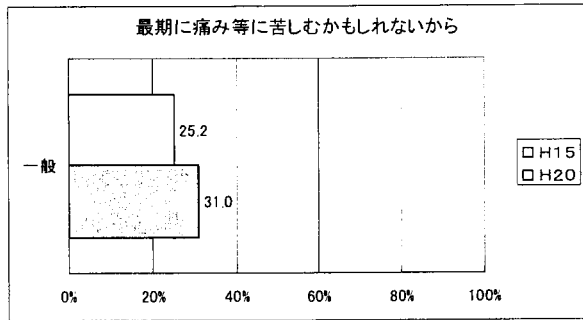
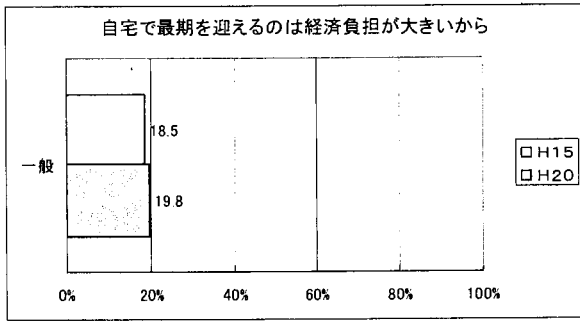


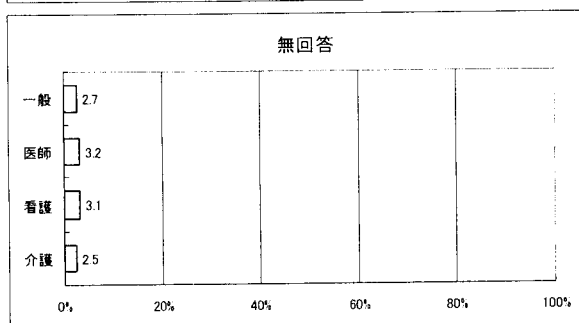
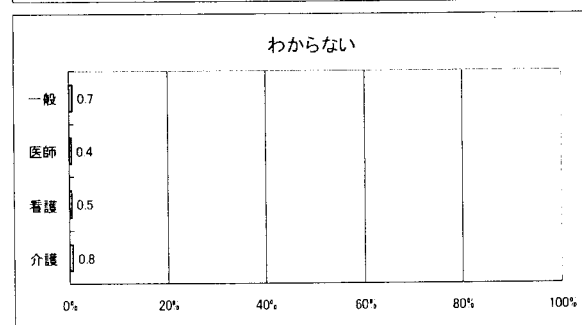
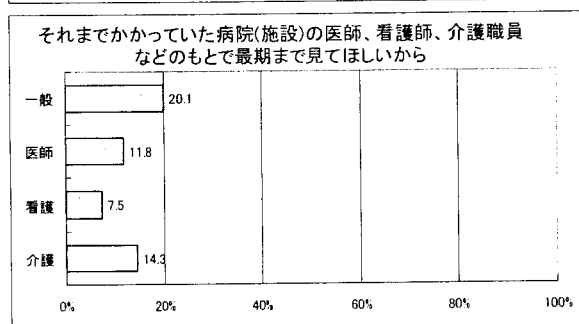
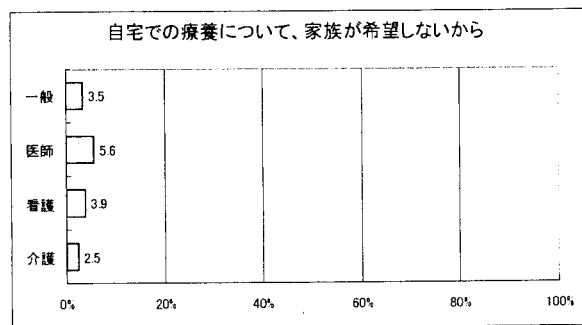
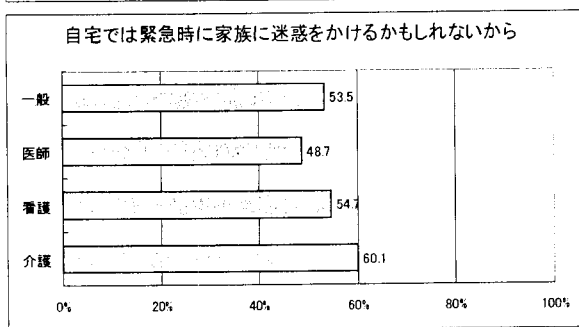
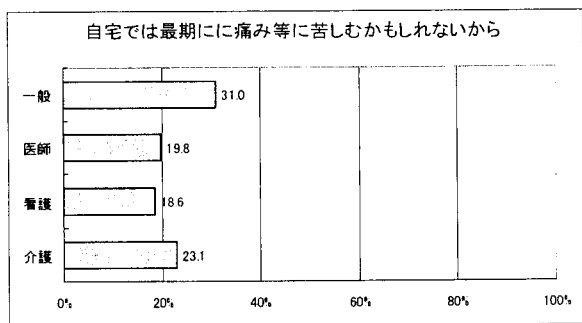
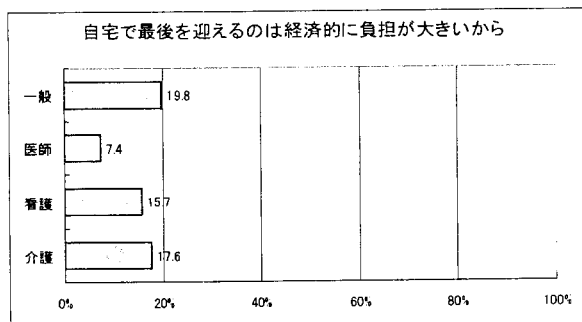


【(一般) 問 1 1 補問 2】(「2 病院」「3 老人ホーム」「4 その他」をお選びの方へ)  
 あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養したいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

自宅以外で療養したいと回答した者は、その理由として「自宅では家族の介護などの負担が大きいから」「自宅では緊急時に家族へ迷惑をかけるかもしれないから」をあげる者が多く、多くの国民の悩みである。



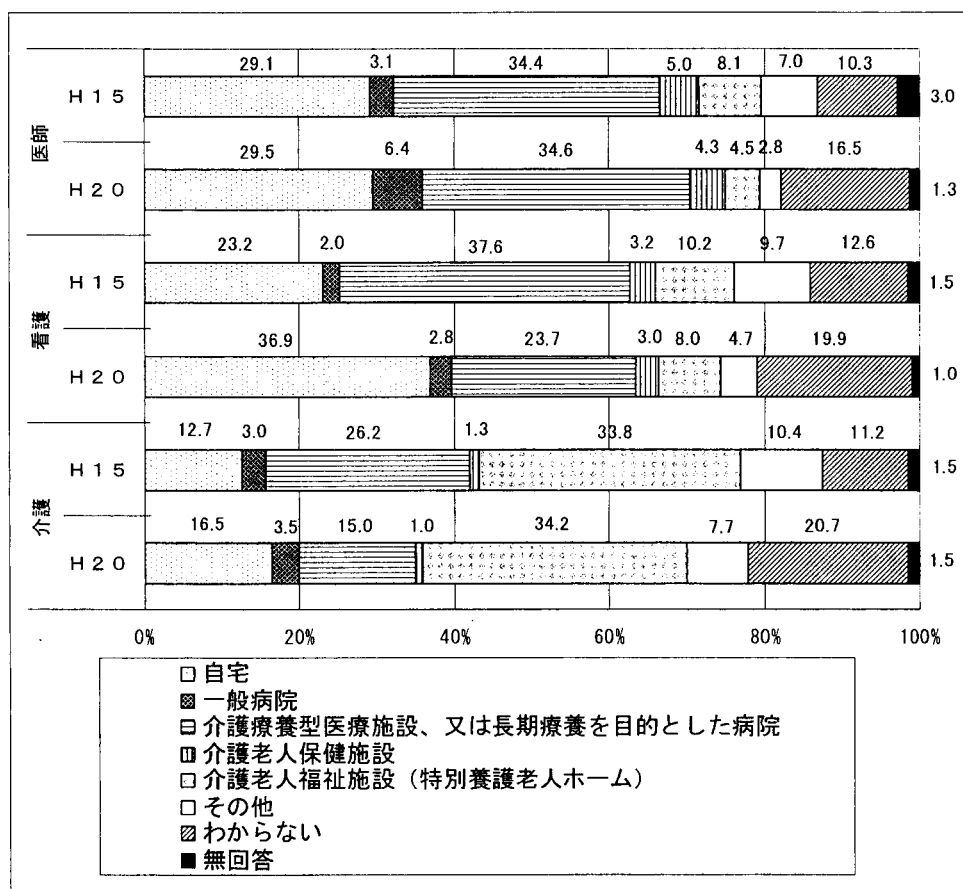
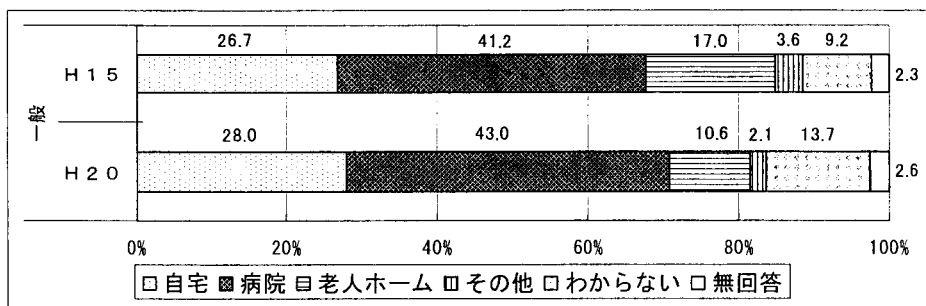




【(一般)問13】あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養させたいですか。(○は1つ)

【(医療従事者)問19】あなたの担当する患者(入所者)が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養させたいですか。(○は1つ)

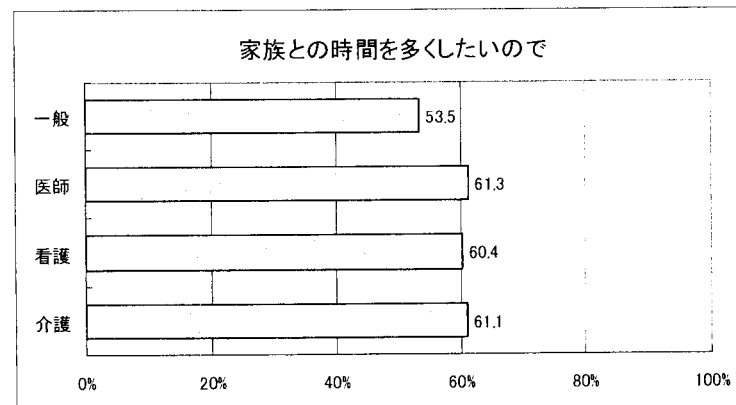
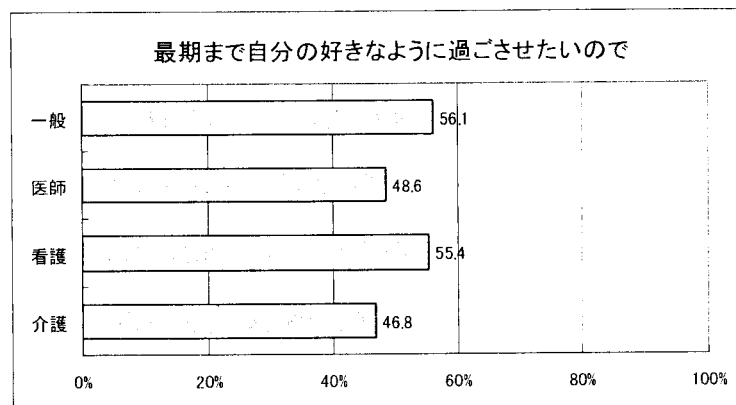
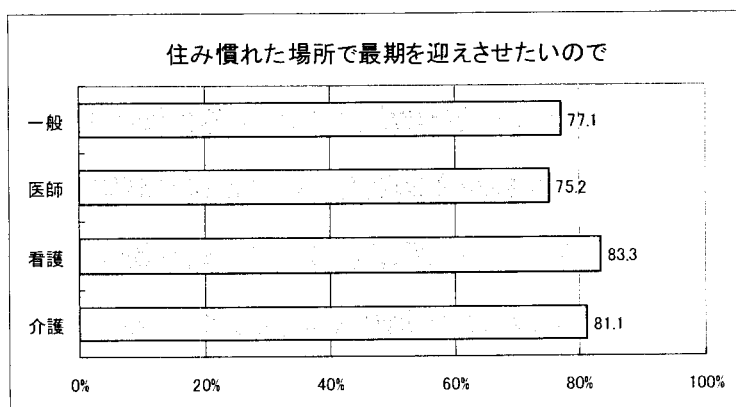
自分の家族(患者)が脳血管障害や認知症になった場合の療養場所としては、医師・看護師では、自分の場合は自宅が多かったが、介護療養型医療施設等(医師35%、看護職員24%)と自宅(医師30%、看護職員37%)で療養させることを望んでいる者が拮抗している。国民は自分の場合と同様、自宅(28%)よりも病院(43%)で療養させることを望んでいる者が多い。年代別でも自分の場合と同様、高齢者の方が病院での療養を多く望んでいる(48~53%)。介護職員では介護老人保健施設(特別養護老人ホーム)で療養させることを望んでいる者が多い(34%)。

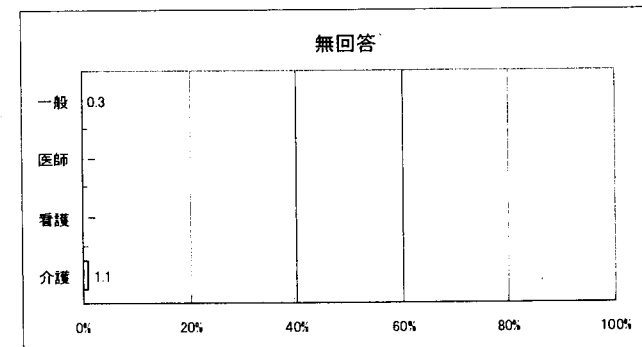
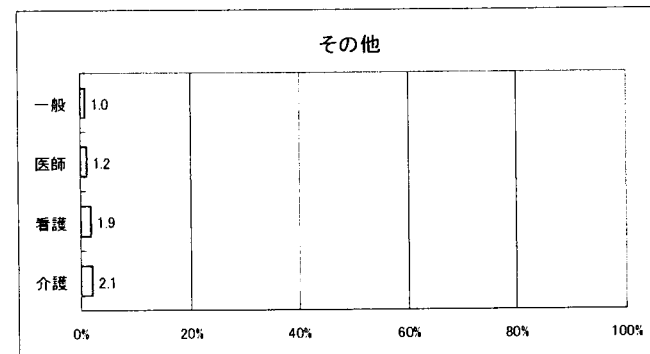
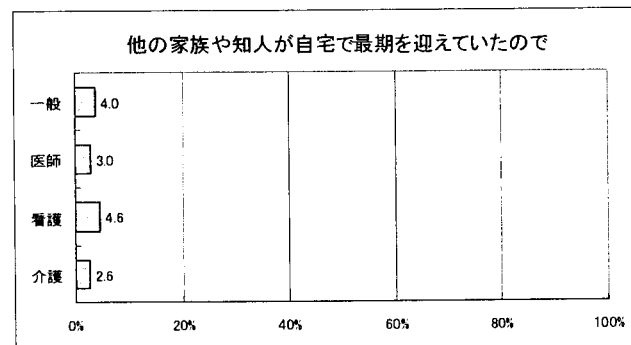
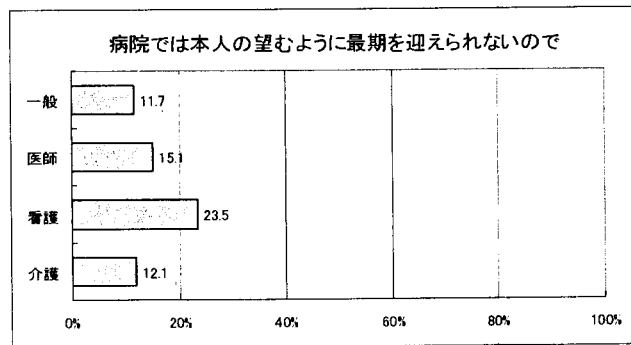
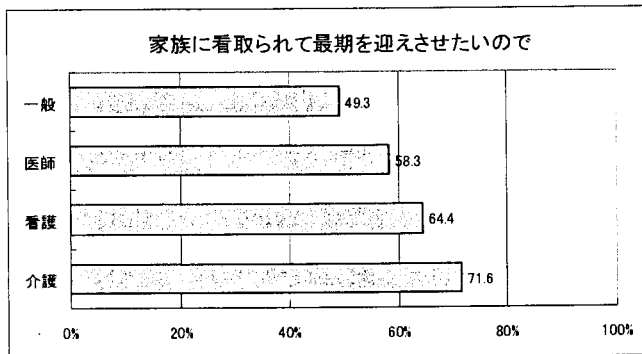




【(一般)問13補問1(医療従事者)問19補問1】(問13、19で「1自宅」をお選びの方へ)なぜ、自宅で最期まで療養させたいと思いますか。(〇はいくつでも)

自宅で療養させたいと回答した者は、その理由として「住み慣れた場所で最後を迎えたい」「家族との時間を多くしたい」「家族に看取られて最期を迎えさせたい」をあげる者が多い。





【(一般)問13補問2(医療従事者)問19補問2】 (問13、19で「2一般病院 3介護療養型医療施設 4介護老人保健施設」をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養させたいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

自宅以外で療養させたいと回答した者は、その理由として「自宅では家族の介護などの負担が大きいから」「自宅では緊急時に家族大変になるかもしれないから」をあげる者が多い。一般国民では「自宅では最期に痛み等に苦しむかもしれない」を挙げる者も多い。

